

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2006-296597(P2006-296597A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2005-120327(P2005-120327)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月14日(2008.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の契機発生手段からの信号入力を契機にして所定の抽選処理を行う抽選手段と、

所定の変動表示を行った後、所定態様で停止表示を行う表示手段と、

少なくとも前記抽選処理の抽選結果に基づく特定態様の停止表示が前記表示手段でなされた場合に、遊技者に有利な特別遊技状態の発生処理を行う遊技制御手段とを備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

少なくとも前記表示手段の制御処理及び前記特別遊技状態の発生処理を含む所定の遊技制御処理を定期的に実行し、当該遊技制御処理において各種判別情報を参照することにより、予め設定された遊技仕様に基づいた遊技制御が可能なように構成され、

前記遊技仕様に基づいた遊技制御を行う上で前記抽選結果に応じて設定又は変更を要する判別情報に関しては全て、当該判別情報を設定又は変更する処理を、前記遊技制御処理のうちの前記変動表示を開始する前段階に行われる特定の処理内において判別情報設定処理としてまとめて実行するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定の契機発生手段からの信号入力を契機にして所定の抽選処理を行う抽選手段と、

所定の変動表示を行った後、所定態様で停止表示を行う表示手段と、

少なくとも前記抽選処理の抽選結果に基づく特定態様の停止表示が前記表示手段でなされた場合に、遊技者に有利な特別遊技状態の発生処理を行う遊技制御手段とを備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

遊技モードを、少なくとも通常モードと、前記通常モードよりも遊技者に有利な第1特定モードと、前記通常モードよりも遊技者に有利な第2特定モードとの間で切換設定する切換設定処理を実行可能に構成されるとともに、

少なくとも前記表示手段の制御処理、前記特別遊技状態の発生処理及び前記遊技モードの切換設定処理を含む所定の遊技制御処理を定期的に実行するよう構成され、

少なくとも前記特別遊技状態を発生させるか否かを判別するための状態判別情報を設定又は変更する処理、前記第1特定モードを発生させるか否かを判別するための状態判別情報を設定又は変更する処理、及び、前記第2特定モードを発生させるか否かを判別するた

めの状態判別情報を設定又は変更する処理を、前記遊技制御処理のうちの前記変動表示を開始する前段階に行われる特定の処理内において判別情報設定処理としてまとめて実行するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記遊技制御手段は、前記変動表示の実行回数を判別するための回数判別情報を設定又は変更する処理を、前記判別情報設定処理において実行するようにしたことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記特別遊技状態は、所定回数の特賞状態からなり、
所定条件に応じて前記特賞状態の発生回数が変更されるよう構成され、
前記特賞状態の発生回数を特定する回数判別情報を設定又は変更する処理を、前記判別情報設定処理において実行するようにしたことを特徴とする請求項2又は3に記載の遊技機。